

令和7年度 公民科

教科	公民科	科目	倫理	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	詳述倫理（実教出版）						
副教材等	テオーリア 最新倫理資料集（第一学習社）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

変化が激しく、価値観の多様化する現代社会を私たちは生きています。だからこそ、自分のライフスタイルや社会的な立ち位置を決めていくにあたって、先人のいろいろな思想・考え方に触れていくことは、きわめて大事です。彼らが、それぞれの時代・社会にあってどのような課題に直面し、それをどのように解決しようとしたのか。私たちはこれから1年間、そうした彼らの営みを学び、私たち独自の課題の解決に役立てていきましょう。

2 学習の到達目標

- ・「倫理についての基本的な知識」と「倫理についての情報を集め、読み解く能力」が身についている。
- ・倫理の課題について、自分から探究し、多面的・多角的に考え、人に伝えることができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能が身についている。	自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために、倫理に関する概念や理論などを活用して論理的に思考する力を身につけ、自己の考えを他者に説明したり発表したりすることができる。	人間としての在り方生き方に関わる課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとする態度があり、多面的・多角的な考察やより深い思索を通して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期中間	人間の心と自己形成	人間性の定義やライフサイクルの中の青年期の特徴や自己形成を学習する	a: 人間の心と自己形成について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 b: 人間の心と自己形成について、自分の意見を持ち、表現できる。 c: 人間の心と自己形成に関する学習やワークに主体的に取り組み、課題を解決しようとしている。	定期テスト	定期テスト	定期テスト
				ワークシート	ワークシート	ワークシート
1学期期末	ギリシア思想	ソクラテス・プラトン・アリストテレスらが考えた課題とその解決方法やヘレニズムの思想を学習する。	a: 古代ギリシア哲学について知識を持ち、ヘレニズム期までの変遷を理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 b: 古代ギリシアの哲学者たちの思想を比較・分類し、考察した結果を図に表すなどで表現できる。 c: 古代ギリシア哲学に関する学習やワークに主体的に取り組み、課題を解決しようとしている。	定期テスト	定期テスト	定期テスト
				ワークシート	ワークシート	ワークシート
2学期中間	三大宗教	それぞれの宗教の基本的な考え方と現代社会との関連について学習する。	a: 三大宗教の成立と発展についての知識を持ち、その意義を理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 b: 三大宗教と現代の国際的な問題との関連について意見を持ち、表現できる。 c: 三大宗教に関する学習やワークに主体的に取り組み、課題を解決しようとしている。	定期テスト	定期テスト	定期テスト
				ワークシート	ワークシート	ワークシート
2学期中間	中国思想	諸子百家の思想について学習する。	a: 古代中国の思想に関する知識を持ち、その思想的背景を理解しているとともに、老荘思想の資料から様々な情報を適切にまとめている。 b: 諸子百家の考え方について比較検討して考察し、表現できる。 c: 古代中国に関する学習やワークに主体的に取り組み、課題を解決しようとしている。	定期テスト	定期テスト	定期テスト
				ワークシート	ワークシート	ワークシート

2 学期 中間	古代日本人の思想	古代日本人の思想の特徴を西洋思想と対比しながら学習する。	a: 古代日本人の思想に関する知識を持ち、現代日本とのつながりを理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 b: 古代日本人の思想と風土との関係について、西洋と対比しながら考え、表現できる。 c: 古代日本人の思想に関する学習やワークに主体的に取り組み、課題を解決しようとしている。	定期テスト ワークシート	定期テスト ワークシート	定期テスト ワークシート
	2 学期 期末	日本思想について、外来思想（仏教、儒教、西洋思想）の受容の過程とともに学習する。	a: 外来思想の受容について知識を持ち、日本思想に与えた影響について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 b: 日本思想における外来思想の受容の仕方の特徴について考察し、表現できる。 c: 外来思想の受容に関する学習やワークに主体的に取り組み、課題を解決しようとしている。	定期テスト ワークシート	定期テスト ワークシート	定期テスト ワークシート
3 学期 学年末	近現代思想	ルネサンス、宗教改革、市民革命を経て確立した近代思想と、それへの反省から発展した現代思想について学習する。	a: 近現代思想に関する知識を持ち、現代を生きる自己の在り方生き方と関連付けて理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 b: 近代思想への反省と現代思想の発展の間の因果関係について考察し、表現できる。 c: 近現代思想の受容に関する学習やワークに主体的に取り組み、課題を解決しようとしている。	定期テスト ワークシート	定期テスト ワークシート	定期テスト ワークシート
	現代の諸課題と倫理	学習した内容を現代の諸課題と関連づけて考え、自らの認識を深める。	a: 各単元の学習内容を理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 b: 現代の諸課題について意見を持ち、表現できる。 c: 現代の諸課題に関する学習やワークに主体的に取り組み、課題を解決しようとしている。	定期テスト ワークシート	定期テスト ワークシート	定期テスト ワークシート

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

学校番号	2002
------	------

令和7年度 地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史演習	単位数	2単位	学年	3年次
使用教科書	世界史探究（実教出版）						
副教材等	世界史のミュージアム（とうほう）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

2年次の「歴史総合」、3年次の「世界史探究」を学習したうえで、発展的な内容を学習するのが、「世界史演習」となります。世界の国々の歴史や文化を理解した上で、現代世界の成り立ちの過程を知ること、互いを尊重する姿勢を養い、私たちが直面する様々な課題を世界の人々とともに解決していきけるような視点（見方）を身につけることを目標にしています。1年間、発展的な内容の演習を通じて、ともに学習していきましょう。

2 学習の到達目標

- ・「世界史についての発展的な知識」と「資料等を活用して、歴史を読み取る力」が身についている。
- ・世界史を多面的、多角的に考察し、発展的な「歴史的思考力」が身についている。
- ・世界各地域の社会の変化や課題について、歴史的な見方・考え方に基づいて考察し、自らの歴史観を構築し、他者に伝えることができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	世界史の授業内容について理解し、発展的な知識を身に付けるとともに、資料を活用して考察、活用する技能を習得できている。	世界史の授業内容について、同時代の世界の概念などを読み解く思考力を身につけ、多面的・多角的に考察、判断したり、現在の社会にみられる課題の解決に向けて構想したりして、発展的な演習を通して生まれたと問いと社会の変化と関連付けて表現できる。	世界史の授業内容を通して、過去から現在までの変化の道筋を理解し、私たちが直面する諸問題のあり方を検討し、グローバル社会における生活を豊かにし、自らその生き方を構築することができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにあわせて評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和4年度以降入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期中間	諸地域の歴史的特質の形成	<ul style="list-style-type: none"> 古代文明 東アジアとユーラシア 南アジアと東南アジア 	<p>a:古代文明の成り立ち、諸地域の歴史的特質の形成についての発展的な知識を理解し、活用することができる。</p> <p>b: 古代の歴史についての発展的な演習による学びを通じて、歴史的な事象における自分の意見を持ち、かつ諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめて表現することができる。</p> <p>c: 歴史的な観点から、古代文明の成立からつながる現代の諸課題に目を向け、主体的に解決しようとしている。</p>	<p>定期テスト</p> <p>小テスト</p>	<p>定期テスト</p> <p>ワークシート</p> <p>課題</p>	<p>授業態度</p> <p>授業プリント</p> <p>振り返りシート</p> <p>課題</p>
		<ul style="list-style-type: none"> 西アジアと地中海周辺 ヨーロッパの形成 	<p>a: 世界各地の古代文明を通して、その共通点に着目しながら発展的な知識を理解し、活用することができる。</p> <p>b: 10世紀ごろまでの歴史についての発展的な演習による学びを通じて、歴史的な事象における自分の意見を持ち、かつ諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめて表現することができる。</p> <p>c: 歴史的な観点から、各地に誕生した王権国家や宗教の学びを通して、現代の諸課題とつながる点に目を向け、主体的に課題解決しようとしている。</p>	<p>定期テスト</p> <p>小テスト</p>	<p>定期テスト</p> <p>ワークシート</p> <p>課題</p>	<p>授業態度</p> <p>授業プリント</p> <p>振り返りシート</p> <p>課題</p>

※令和4年度以降入学生用

2学期中間	諸地域の交流と再編	<ul style="list-style-type: none"> ・イスラーム圏の成立とヨーロッパの再編 ・ユーラシア地域、帝国の交流と再編 ・近世ヨーロッパの形成 	<p>a:ヨーロッパの主権国家体制、アジアの交易覇権帝国に関する発展的な知識を理解し、活用することができる。</p> <p>b: 各地域世界の諸国家の成立に関する発展的な演習を通じて、歴史的な事象における自分の意見を持ち、かつ諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめて表現することができる。</p> <p>c: 歴史的な観点から、各地域の再編と交流によって誕生した歴史的特質に目を向け、主体的に課題解決しようとしている。</p>	<p>定期テスト</p> <p>小テスト</p>	<p>定期テスト</p> <p>ワークシート</p> <p>課題</p>	<p>授業態度</p> <p>授業プリント</p> <p>振返りシート</p> <p>課題</p>
2学期期末	諸地域の結合と変容	<ul style="list-style-type: none"> ・産業革命と大西洋革命 ・近代欧米の国民国家 ・帝国主義と諸地域の抵抗 ・第一次世界大戦 	<p>a:諸地域の交流と再編のなかからどのようにし世界の一体化が始まったかを理解し、発展的な知識を活用することができる。</p> <p>b: 近代世界の再編や交流における発展的な演習を通じて、歴史的な事象における自分の意見を持ち、かつ諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめて表現することができる。</p> <p>c: 歴史的な観点から、国民国家の成立の過程を通じて、近世世界と現代世界の課題のつながりに目を向け、主体的に課題解決しようとしている。</p>	<p>定期テスト</p> <p>小テスト</p>	<p>定期テスト</p> <p>ワークシート</p> <p>課題</p>	<p>授業態度</p> <p>授業プリント</p> <p>振返りシート</p> <p>課題</p>
3学期学年末	地球世界の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦 ・冷戦と現代世界 ・世界課題の探究 	<p>a:第二次世界大戦後の現代世界の背形成、地球的課題について理解し、発展的な知識を活用することができる。</p> <p>b: 現代の地球的課題における発展的な演習を通じて、歴史的な事象における自分の意見を持ち、かつ諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめて表現することができる。</p> <p>c: 歴史的な観点から現代の地球的課題に目を向け、主体的に解決しようとしている。</p>	<p>定期テスト</p> <p>小テスト</p>	<p>定期テスト</p> <p>ワークシート</p> <p>課題</p>	<p>授業態度</p> <p>授業プリント</p> <p>振返りシート</p> <p>課題</p>

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

学校番号	2002
------	------

令和7年度 地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史演習	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	詳説日本史（山川出版社）						
副教材等	詳説日本史（浜島書店）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

日本史は、私たちの住む日本列島の中での人々の歩みを探るものですが、その歩みは様々な地域との交流の中で、その影響を受けつつ展開してきたものです。したがって、私たちは周辺の国々をはじめとする各地域の歴史や、日本と諸外国との関係に目を向けていく必要があります。日本史探究はそのような視点から日本の歩みを知ること、現代の日本に様々な課題が横たわっていることに気づくかもしれません。それらの課題は「ある日、突然に」生じたことではありません。では「いつ」「どのように」生じたのか、日本史を学ぶことは、これらの疑問を探ることです。日本史を学ぶことを通じて、みなさんが現在、私たちの抱える課題を少しでも解決して、よりよい社会をつくりあげようとする気持ちを強くすることができれば、これ以上のよろこびはありません。

2 学習の到達目標

- 日本史の全体像を理解する。
- 「日本史の基本的な知識」と「資料等を活用し、歴史を読み取る技能」が身についている。
- 社会の変化や課題について、歴史的な見方・考え方に基いて考察し人に伝えることができる。
- 自ら課題を発見し、その課題を探究しようとする力と習慣を身に付ける。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	日本史の授業内容について理解し、その知識を身に付けるとともに、様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめている。	日本史の授業内容について、その特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、現在の社会にみられる課題の解決に向けて構想したりして、社会の変化と関連付けて説明できる。	日本史の授業内容が、自己の将来において役立つ場面を具体的に想定し、国家及び社会の形成者として、主体的に行動することができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	近世・近代	・幕藩体制の動揺	a: 幕藩体制の変化や社会に与えた影響について理解し、知識を活用することができる。 b: 歴史を学んだ上で自分の意見を持ち、かつ諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめて表現することができる。 c: 歴史的な観点から現代の諸課題に目を向け、主体的に解決しようとしている。	定期テスト	定期テスト ワークシート 課題 小テスト	授業態度 授業プリント 振り返りシート 課題
		・近世から近代へ	a: 近世からの移り変わりを理解し、知識を活用することができる b: 歴史を学んだ上で自分の意見を持ち、かつ諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめて表現することができる。 c: 歴史的な観点から現代の諸課題に目を向け、主体的に解決しようとしている。	定期テスト	定期テスト ワークシート 課題 小テスト	授業態度 授業プリント 振り返りシート 課題
2学期	近代	・近代国家の成立 ・近代国家の展開	a: 近代国家の成立について理解し、知識を活用することができる。 b: 歴史を学んだ上で自分の意見を持ち、かつ諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめて表現することができる。 c: 歴史的な観点から現代の諸課題に目を向け、主体的に解決しようとしている。	定期テスト	定期テスト ワークシート 課題 小テスト	授業態度 授業プリント 振り返りシート 課題

※令和4年度以降入学生用

2学期期末		<ul style="list-style-type: none"> ・近代の産業と生活 ・恐慌と第二次世界大戦 	<p>a: 近代産業の発達とそれによる社会の変化を理解し、知識を活用することができる。</p> <p>b: 歴史を学んだ上で自分の意見を持ち、かつ諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめて表現することができる。</p> <p>c: 歴史的な観点から現代の諸課題に目を向け、主体的に解決しようとしている。</p>	定期テスト	定期テスト ワークシート 課題 小テスト	授業態度 授業プリント 振り返りシート 課題
3学期学年末	近代・現代	<ul style="list-style-type: none"> ・占領下の日本 ・高度成長の時代 ・激動する世界と日本 	<p>a: 冷戦による占領政策の転換を理解し、国際社会における現在の日本について理解し、知識を活用することができる。</p> <p>b: 歴史を学んだ上で自分の意見を持ち、かつ諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめて表現することができる。</p> <p>c: 歴史的な観点から現代の諸課題に目を向け、主体的に解決しようとしている。</p>	定期テスト	定期テスト ワークシート 課題 小テスト	授業態度 授業プリント 振り返りシート 課題

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

学校番号	2002
------	------

令和7年度 地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史探究	単位数	4単位	学年	3年次
使用教科書	世界史探究（実教出版）						
副教材等	世界史のミュージアム（とうほう）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

私たちは、様々な人々・民族とともにこの地球上で生活しています。そして、彼らとともに現代の課題を解決していくことが強く求められています。そのためには、この多くの人々のことをよく理解する必要があります。「世界史探究」は、この地球で生活してきた人々・民族の歩みを学習することをとおして、私たちが直面する様々な課題を世界の人々とともに解決していけるような視点（見方）を身につけることを目標にしています。1年間ともに学習していきましょう。

2 学習の到達目標

- ・「世界史についての基本的な知識」と「資料等を活用して、歴史を読み取る力」が身についている。
- ・世界史を多面的、多角的に考察し、「歴史的思考力」が身についている。
- ・世界各地域の社会の変化や課題について、歴史的な見方・考え方に基づいて考察し、人に伝えることができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	世界史の授業内容について理解し、その知識を身に付けるとともに、資料を活用して考察する技能を習得できている。	世界史の授業内容について、同時代の世界の概念などを読み解く思考力を身につけ、多面的・多角的に考察、判断したり、現在の社会にみられる課題の解決に向けて構想したりして、社会の変化と関連付けて表現できる。	世界史の授業内容を通して、過去から現在までの変化の道筋を理解し、私たちが直面する諸問題のあり方を検討し、グローバル社会における生活を豊かにすることができる。
<p>上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。</p>			

※令和4年度以降入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期 中間	諸地域の歴史的 特質の形成	<ul style="list-style-type: none"> 古代文明 東アジアとユーラシア 南アジアと東南アジア 	<p>a: 古代文明の成り立ち、諸地域の歴史的 特質の形成について基礎的な知識 を理解し、活用することができる。</p> <p>b: 歴史を学んだ上で自分の意見を持 ち、かつ諸資料から様々な情報を調べ まとめて表現することができる。</p> <p>c: 歴史的な観点から、古代文明の成 立からつながる現代の諸課題に目を 向け、主体的に解決しようとしている。</p>	<p>定期 テスト</p> <p>小テス ト</p>	<p>定期 テスト</p> <p>ワーク シート 課題</p>	<p>授業 態度</p> <p>授業 プリン ト</p> <p>振返り シート</p> <p>課題</p>
		<ul style="list-style-type: none"> 西アジアと地中海周辺 ヨーロッパの形成 	<p>a: 世界各地の古代文明を通して、そ の共通点に着目しながら基礎的な知 識を理解し、活用することができる。</p> <p>b: 10世紀ごろまでの歴史を学んだ 上で自分の意見を持ち、かつ諸資料か ら様々な情報や自分の意見を調べま とめて表現することができる。</p> <p>c: 歴史的な観点から、各地に誕生し た王権国家や宗教の学びを通して、現 代の諸課題とつながる点に目を向け、 主体的に課題解決しようとしている。</p>	<p>定期 テスト</p> <p>小テス ト</p>	<p>定期 テスト</p> <p>ワーク シート 課題</p>	<p>授業 態度</p> <p>授業 プリン ト</p> <p>振返り シート</p> <p>課題</p>

※令和4年度以降入学生用

2学期中間	諸地域の交流と再編	<ul style="list-style-type: none"> ・イスラーム圏の成立とヨーロッパの再編 ・ユーラシア地域、帝国の交流と再編 ・近世ヨーロッパの形成 	<p>a:ヨーロッパの主権国家体制、アジアの交易覇権帝国に関する基礎的な知識を理解し、活用することができる。</p> <p>b: 歴史を学んだ上で自分の意見を持ち、かつ諸資料から様々な情報や自分の意見を調べまとめて表現することができる。</p> <p>c: 歴史的な観点から、各地域の再編と交流によって誕生した歴史的特質に目を向け、主体的に課題解決しようとしている。</p>	定期テスト 小テスト	定期テスト ワークシート 課題	授業態度 授業プリント 振り返りシート 課題
2学期期末	諸地域の結合と変容	<ul style="list-style-type: none"> ・産業革命と大西洋革命 ・近代欧米の国民国家 ・帝国主義と諸地域の抵抗 ・第一次世界大戦 	<p>a:諸地域の交流と再編のなかからどのようにし世界の一体化が始まったかを理解し、基礎的な知識を活用することができる。</p> <p>b: 近代世界の再編や交流を学んだ上で自分の意見を持ち、かつ諸資料から様々な発展的な情報や自分の意見を調べまとめて表現することができる。</p> <p>c: 歴史的な観点から、国民国家の成立の過程を通じて、近世世界と現代世界の課題のつながりに目を向け、主体的に課題解決しようとしている。</p>	定期テスト 小テスト	定期テスト ワークシート 課題	授業態度 授業プリント 振り返りシート 課題
3学期学年末	地球世界の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦 ・冷戦と現代世界 ・世界課題の探究 	<p>a:第二次世界大戦後の現代世界の背形成、地球的課題について理解し、基礎的な知識を活用することができる。</p> <p>b: 現代の地球的課題を学んだ上で自分の意見を持ち、かつ諸資料から様々な発展的な情報や自分の意見を調べまとめて表現することができる。</p> <p>c: 歴史的な観点から現代の地球的課題に目を向け、主体的に解決しようとしている。</p>	定期テスト 小テスト	定期テスト ワークシート 課題	授業態度 授業プリント 振り返りシート 課題

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

学校番号	2002
------	------

令和7年度 地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	高校生の地理総合（帝国書院） 新詳高等地図（帝国書院）						
副教材等	最新地理図表 GEO（第一学習社）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

<p>私たちは、生きていく上での様々な問題に直面した際、「過去を振り返ったり」、「他と比較したり」して問題を解決しようとしています。「地理総合」では、世界の様々な国や地域の自然や産業、文化や問題などを、私たちの暮らしと「比較」しながら、地理的に考える力を身につけることを目指します。</p> <p>学習している「国際社会」の内容と、私たちの生活とのつながりを常に意識しながら、地球的な視野を持って学習を進めていきましょう。</p>

2 学習の到達目標

<ul style="list-style-type: none"> ・「世界の地理的事象についての基本的な知識」と「地図やGISを活用できる地理的技能」が身についている。 ・世界の生活や文化の多様性、国々の結びつきを理解するとともに、そこから生じる社会の課題について、地理的な見方・考え方に基づいて自分なりの意見を出し、人に伝えることができる。 ・災害と隣り合わせのわが国において、地域調査を含めた防災への意識を醸成する。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	<p>国際社会の地理的課題について、理解するための知識が身に付いている。</p> <p>国際社会の地理的課題について、地図・地球儀・統計調査などで情報を正しく読み取り活用する力</p>	<p>国際社会の地理的課題について、地理的な見方・考え方に基づいて考え、それを文章や発表の形で表現する。</p>	<p>自分が国際社会の一員であることを自覚し、国際社会の地理的課題を意欲的に追求する姿勢を表す。</p>
<p>上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。</p>			

※令和4年度以降入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期中間	地図や地理情報システムと現代社会	地球儀と地図 地図と地理情報システム	<p>a:地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取ることを通じて、地図や地理情報システムの役割や有用性を理解している。地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取る技能や、地図や地理情報システムを利用する技能を身につけている。</p> <p>b:各種の地図にはどのような特徴があるのかや、地図や地理情報システムはどのように利用できるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>c:目的に応じた地図や地理情報システムの利活用の方法について、主体的に追究し、課題を見いだしている。</p>	定期テスト ワークシート	定期テスト ワークシート	定期テスト ワークシート 課題
	結びつきを深める現代社会	現代社会の国家と領域 地図から見る国内や国家間の結びつき	<p>a:世界を構成する国家の領域の定め方、地図を通して世界の国々の結びつき方、交通、通信、人の移動の特徴を理解している。国家の領域や世界の国々の結びつき、交通、通信、人の移動の特徴を見いだすための、読図の技能を身につけている。</p> <p>b:国家の領域はどのように定められており、日本を含めた世界ではどのような領土問題があるかや、世界の国々はどのように結びついており、どのような交通、通信、人の移動の特徴があるかについて、地図を通して多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>c:国家の領域の定め方や領土問題、世界の国々の結びつき方、交通、通信、人の移動の特徴について、地図を通して主体的に追究し、課題を見いだしている。</p>			
1学期期末	生活文化の多様性と国際理解	世界の地形と人々の生活 世界の気候と人々の生活 世界の産業と人々の生活 世界の宗教・民族・言語と人々の生活 多様な生活文化と地理的環境	<p>A:世界の多様な生活文化が、自然環境や社会環境を背景に、互いに影響を及ぼし合いながら形成されてきたことを理解している。世界の生活文化の多様性の背景となるものや、世界の生活文化の相互関係を見いだすための、地理的見方・考え方を身につけている。</p> <p>b:地形や気候、産業とその発展、歴史、人の移動、他地域との結びつきに着目しながら、世界の生活文化の多様性がどのように形成されてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>c:世界の多様な生活文化を尊重し、共生を図っていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。</p>	定期テスト ワークシート	定期テスト ワークシート	定期テスト ワークシート 課題

※令和4年度以降入学生用

2学期中間	事例研究(地誌)	産業(東アジア、アメリカ合衆国) 結びつき(東南アジア、オセアニア) 宗教・歴史(インド、サハラ以南アフリカ、ヨーロッパ、ラテンアメリカ) 自然環境(中央アジア・西アジア・北アフリカ、ロシア)	a: 歴史や宗教、自然環境と人々の生活との深い結びつきによる、古くからの景観や文化の継承について理解している。経済発展、外国とのつながりに伴う人々の生活文化の変化について理解している。 b: 歴史や宗教、自然環境に着目しながら、人々の価値観がどのように育まれてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。産業の特徴に着目しながら、経済発展や外国とのつながりに伴う人々の生活や文化の変化について、多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 特徴的な自然環境、歴史や宗教、経済発展、外国とのつながりによる人々の生活の変化について、主体的に追究し、課題を見いだしている。	定期テスト ワークシート	定期テスト ワークシート	定期テスト ワークシート 課題
2学期期末	地球的課題と国際協力	人口問題 食糧問題 都市・居住問題 感染症・衛生問題 資源・エネルギー問題 地球環境問題	a: 地球的課題が生じている場所や要因、課題どうしが相互に関係し合っていることを理解している。地球的課題が生じている場所や要因、課題どうしが相互に関係し合っていることを見いだすための、地理的見方・考え方を身につけている。 b: 地球的課題がどこで、どのように生じているのかや、解決のためにどのような取り組みがなされているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 持続可能な開発を実現するために必要な取り組みや国際協力のあり方について、主体的に追究し、課題を見いだしている。	定期テスト ワークシート	定期テスト ワークシート	定期テスト ワークシート 課題
3学期学年末	自然環境と防災	日本の自然環境 地震・津波や火山活動による災害と防災 気象災害と防災 自然災害への備え	a: 自然災害が生じる場所と要因、日本の自然災害の特徴、生活のなかにみられる防災・減災への取り組みを理解している。自然災害の発生場所や要因、日本の自然災害の特徴、生活のなかにみられる防災・減災への取り組みを見いだすための、地理的見方・考え方を身につけている。 b: どのような自然災害がどのような場所で生じるのかや、日本の自然災害にはどのような特徴があるのか、どのような防災・減災への取り組みがなされているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 自然環境には災害と恩恵の両側面があり、人々が生活していくうえで必要な防災・減災に向けた備えについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。	定期テスト ワークシート	定期テスト ワークシート	定期テスト ワークシート 課題

※令和4年度以降入学生用

	<p style="text-align: center;">生活圏の調査と地域の展望</p>	<p>生活圏の調査と地域の展望</p>	<p>a:生活圏の調査にあたって、仮説の立て方や調査結果の検証の方法、発表のしかたを理解している。生活圏の調査にあたって、仮説の立て方や調査結果の検証の方法、発表のしかたについての技能を身につけている。</p> <p>b:事前調査の結果からどのような仮説が立てられるのかや、現地調査の結果をどのように分析・整理するのか、他の事例との比較からどのようなことがいえるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>c:生活圏の調査の結果を地域に還元し、よりよい社会を築いていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。</p>			
--	---	---------------------	--	--	--	--

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

学校番号	2002
------	------

令和7年度 地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理探究	単位数	4単位	年次	3年次
使用教科書	新詳地理探究（帝国書院） 新詳高等地図（帝国書院）						
副教材等	最新地理図表 GEO（第一学習社）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

世界の様々な国や地域の中には、異なる場所であるにも関わらず、同じような環境や文化の地域があれば、反対に、全く正反対の環境や文化で生活している地域もあります。2年生の「地理総合」で培った基礎的な「地理的な見方・考え方」や「地理的な知識・技能」をより高度なものへ発展させつつ、グループワークやプレゼン発表を通して発信力・表現力を高めるとともに、世界の様々な国や地域を比較・探究しながら総合的な地誌的能力を身につけましょう。

2 学習の到達目標

- ・「世界の地理的事象についての発展的な知識」と「地図やGISを活用できる地理的技能」が身についている。
- ・世界の様々な地域を地誌的な見方・考え方で捉えることのできる知識・技能を養う。
- ・グループによる地誌研究を通して、学習内容を自ら探究する力と総合的な地誌的能力を養う。
- ・グループによる研究発表を通して、人に伝える力と地域の類似性や相違性の知識を養う。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	国際社会の地理的課題について理解するとともに、世界の地誌的内容について理解する力を付ける。 国際社会の地理的課題について、パソコンや統計調査、地図を用いて情報収集や発表資料を作成する力を付ける。	世界の地理的課題について、地理的な見方・考え方に基づいて考え、それを文章や発表の形で表現する。	自分が国際社会の一員であることを自覚し、国際社会の地理的課題を意欲的に追求する姿勢を示す。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和4年度以降入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1 学期 中間	自然環境	地形 気候 日本の自然環境 地球環境問題	a:地形, 気候, 生態系などに関わる諸事象をもとに, それらの事象の空間的な規則性, 傾向性や, 地球環境問題の現状や要因, 解決に向けた取り組みなどについて理解している。 b:地形, 気候, 生態系などに関わる諸事象について, 場所の特徴や自然および社会的条件との関わりなどに着目して, 主題を設定し, それらの事象の空間的な規則性, 傾向性や, 関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し, 表現している。 c:自然環境について, よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期テスト 小テスト	定期テスト ワークシート	授業の 取り組み・ 態度 ワーク シート 課題
1 学期 期末	資源と産業	農林水産業 食糧問題 エネルギー・ 鉱産資源 資源・エネルギー問題 工業 第3次産業	a:資源・エネルギーや農業, 工業などに関わる諸事象をもとに, それらの事象の空間的な規則性, 傾向性や, 資源・エネルギー, 食料問題の現状や要因, 解決に向けた取り組みなどについて理解している。 b:資源・エネルギーや農業, 工業などに関わる諸事象について, 場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して, 主題を設定し, それらの事象の空間的な規則性, 傾向性や, 関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し, 表現している。 c:資源, 産業について, よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期テスト 小テスト	定期テスト ワークシート	授業の 取り組み・ 態度 ワーク シート 課題
2 学期 中間	交通・通信と観光、貿易	交通・通信 観光 貿易と経済圏	a:交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸, 観光などに関わる諸事象をもとに, それらの事象の空間的な規則性, 傾向性や, 交通・通信, 観光に関わる問題の現状や要因, 解決に向けた取り組みなどについて理解している。 b:交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸, 観光などに関わる諸事象について, 場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して, 主題を設定し, それらの事象の空間的な規則性, 傾向性や, 関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し, 表現している。 c:交通・通信, 観光について, よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期テスト 小テスト	定期テスト ワークシート	授業の 取り組み・ 態度 ワーク シート 課題

※令和4年度以降入学生用

	人口、村落・都市	人口 人口問題 村落と都市 都市・居住問題	<p>a:人口, 都市・村落などに関わる諸事象をもとに, それらの事象の空間的な規則性, 傾向性や, 人口, 居住・都市問題の現状や要因, 解決に向けた取り組みなどについて理解している。</p> <p>b:人口, 都市・村落などに関わる諸事象について, 場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して, 主題を設定し, それらの事象の空間的な規則性, 傾向性や, 関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し, 表現している。</p> <p>c:人口, 村落・都市について, よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。</p>			
2 学 期 期 末	生活文化、民族・宗教	衣食住 民族・宗教と 民族問題 国家の領域と 領土問題	<p>a:生活文化, 民族・宗教などに関わる諸事象をもとに, それらの事象の空間的な規則性, 傾向性や, 民族, 領土問題の現状や要因, 解決に向けた取り組みなどについて理解している。</p> <p>b:生活文化, 民族・宗教などに関わる諸事象について, 場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して, 主題を設定し, それらの事象の空間的な規則性, 傾向性や, 関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し, 表現している。</p> <p>c:生活文化, 民族・宗教について, よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	定期テスト 小テスト	定期テスト ワークシート	授業の 取り組み・態 度 ワーク シート 課題
	現代世界の諸地域	中国 韓国 ASEAN諸 国 インド 西アジアと中 央アジア アフリカ EU諸国 ロシア アメリカ合衆 国 ラテンメリ カ オーストラリ アとニュージ ーランド	<p>a:いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに, 諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解している。</p> <p>いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに, 地域の結びつき, 構造や変容などを地誌的に考察する方法などについて理解している。</p> <p>b:現代世界の諸地域について, 地域の結びつき, 構造や変容などに着目して, 主題を設定し, 地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し, 表現している。</p> <p>c:現代世界の諸地域について, よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。</p>			

※令和4年度以降入学生用

3 学期 学 年 末	持 続 可 能 な 国 土 像 の 探 究	<p>将来の国土の 在り方 持続可能な日 本の国土像の 探究</p>	<p>a:現代世界におけるこれからの日本の国土像の探究をもとに、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを構想することの重要性や、探究する手法などについて理解している。 b:現代世界におけるこれからの日本の国土像について、地域の結びつき、構造や変容、持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを多面的・多角的に探究し、表現している。 c:持続可能な国土像の探究について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に探究しようとしている。</p>	<p>定期テ スト 小テス ト</p>	<p>定期テ スト ワーク シート</p>	<p>授業の 取り組 み・態 度 ワーク シート 課題</p>
------------------------	---	--	---	--------------------------------------	--	---

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

学校番号	2002
------	------

令和7年度 地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	4単位	年次	3年次
使用教科書	詳説日本史（山川出版社）						
副教材等	詳説日本史（浜島書店）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

日本史は、私たちの住む日本列島の中での人々の歩みを探るものですが、その歩みは様々な地域との交流の中で、その影響を受けつつ展開してきたものです。したがって、私たちは周辺の国々をはじめとする各地域の歴史や、日本と諸外国との関係に目を向けていく必要があります。日本史探究はそのような視点から日本の歩みを知ること、現代の日本に様々な課題が横たわっていることに気づくかもしれません。それらの課題は「ある日、突然に」生じたことではありません。では「いつ」「どのように」生じたのか、日本史を学ぶことは、これらの疑問を探ることです。日本史を学ぶことを通じて、みなさんが現在、私たちの抱える課題を少しでも解決して、よりよい社会をつくりあげようとする気持ちを強くすることができれば、これ以上のよろこびはありません。

2 学習の到達目標

- 日本史の全体像を理解する。
- 「日本史の基本的な知識」と「資料等を活用し、歴史を読み取る技能」が身についている。
- 社会の変化や課題について、歴史的な見方・考え方に基づいて考察し人に伝えることができる。
- 自ら課題を発見し、その課題を探究しようとする力と習慣を身に付ける。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	日本史の授業内容について理解し、その知識を身に付けるとともに、様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめている。	日本史の授業内容について、その特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、現在の社会にみられる課題の解決に向けて構想したりして、社会の変化と関連付けて説明できる。	日本史の授業内容が、自己の将来において役立つ場面を具体的に想定し、国家及び社会の形成者として、主体的に行動することができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにあわせて評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和4年度以降入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期中間	元始・古代・中世	<ul style="list-style-type: none"> • 日本文化のあけぼの • 古墳とヤマト政権 • 律令国家の形成 • 貴族政治の展開 	<p>a: ヤマト政権の成り立ちや律令国家の形成についての知識を理解し、活用することができる。</p> <p>b: 歴史を学んだ上で自分の意見を持ち、かつ諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめて表現することができる。</p> <p>c: 歴史的な観点から現代の諸課題に目を向け、主体的に解決しようとしている。</p>	定期テスト	定期テスト ワークシート 課題 小テスト	授業態度 授業プリント 振り返りシート 課題
1学期期末		<ul style="list-style-type: none"> • 院政と武士の躍進 • 武家政権の成立 • 武家社会の成長 	<p>a: 院政や武家政権の成立について理解し、知識を活用することができる。</p> <p>b: 歴史を学んだ上で自分の意見を持ち、かつ諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめて表現することができる。</p> <p>c: 歴史的な観点から現代の諸課題に目を向け、主体的に解決しようとしている。</p>	定期テスト	定期テスト ワークシート 課題 小テスト	授業態度 授業プリント 振り返りシート 課題

※令和4年度以降入学生用

2学期中間	近世	<ul style="list-style-type: none"> 近世の幕開け 幕藩体制の成立と展開 	<p>a:幕藩体制の成立や展開についての知識を理解し、活用することができる。</p> <p>b: 歴史を学んだ上で自分の意見を持ち、かつ諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめて表現することができる。</p> <p>c: 歴史的な観点から現代の諸課題に目を向け、主体的に解決しようとしている。</p>	定期テスト	定期テスト ワークシート 課題 小テスト	授業態度 授業プリント 振返りシート 課題
2学期期末		<ul style="list-style-type: none"> 幕藩体制の成立と展開 幕藩体制の動揺 	<p>a:幕藩体制の変化や社会に与えた影響について理解し、知識を活用することができる。</p> <p>b: 歴史を学んだ上で自分の意見を持ち、かつ諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめて表現することができる。</p> <p>c: 歴史的な観点から現代の諸課題に目を向け、主体的に解決しようとしている。</p>	定期テスト	定期テスト ワークシート 課題 小テスト	授業態度 授業プリント 振返りシート 課題

※令和4年度以降入学生用

3学期学年末	近代・現代	<ul style="list-style-type: none"> ・近世から近代へ ・近代国家の成立 ・近代国家の展開 ・近代の産業と生活 ・恐慌と第二次世界大戦 ・占領下の日本 ・高度成長の時代 ・激動する世界と日本 	<p>a:近世からの移り変わりや近代国家の成立について理解し、知識を活用することができる。</p> <p>b: 歴史を学んだ上で自分の意見を持ち、かつ諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめて表現することができる。</p> <p>c: 歴史的な観点から現代の諸課題に目を向け、主体的に解決しようとしている。</p>	定期テスト	定期テスト ワークシート 課題 小テスト	授業態度 授業プリント 振り返りシート 課題
--------	-------	---	---	-------	---	---

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

学校番号	2002
------	------

令和7年度 地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	わたしたちの歴史 日本から世界へ（山川出版社）						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

歴史総合は、日本の歴史と世界の歴史を関連づけながら学習する科目です。大きな視点で現代の世界をみると、様々な課題が横たわっていることに気づくかもしれません。それらの課題は「ある日、突然に」生じたことではありません。では「いつ」「どのように」生じたのか、歴史を学ぶことは、これらの疑問を探ることです。歴史を学ぶことを通じて、みなさんが現在、私たちの抱える課題を少しでも解決して、よりよい社会をつくりあげようとする気持ちを強くすることができれば、これ以上のよろこびはありません。

2 学習の到達目標

- 日本の歴史を、世界という視点から理解し学ぶ。
- 「歴史の基本的な知識」と「資料等を活用し、歴史を読み取る技能」が身についている。
- 社会の変化や課題について、歴史的な見方・考え方に基づいて考察し人に伝えることができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	歴史総合の授業内容について世界と日本を相互的な視野から捉えて理解し、その知識を身に付けるとともに、様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめている。	歴史総合の授業内容について、その特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、現在の社会にみられる課題の解決に向けて構想したりして、社会の変化と関連付けて説明できる。	歴史総合の授業内容が、自己の将来において役立つ場面を具体的に想定し、国家及び社会の形成者として、主体的に行動することができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにあわせて評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和4年度以降入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	1学期中間	<ul style="list-style-type: none"> 18世紀の世界とアジア 産業革命 日本の開国 市民革命と国民統合 	<p>a: 18世紀のアジアの情勢と日本との関わりについての知識を理解し、活用することができる。</p> <p>b: 歴史を学んだ上で自分の意見を持ち、かつ諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめて表現することができる。</p> <p>c: 歴史的な観点から現代の諸課題に目を向け、主体的に解決しようとしている。</p>	定期テスト	定期テスト ワークシート 課題 小テスト	授業態度 授業プリント 振返りシート
	1学期期末	<ul style="list-style-type: none"> 明治維新 富国強兵と文明開化 大日本帝国憲法の制定 帝国主義 日清戦争 日露戦争 	<p>a: 開国後の日本が諸外国から受けた影響とその後の変化について理解し、活用することができる。</p> <p>b: 歴史を学んだ上で自分の意見を持ち、かつ諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめて表現することができる。</p> <p>c: 歴史的な観点から現代の諸課題に目を向け、主体的に解決しようとしている。</p>	定期テスト	定期テスト ワークシート 課題 小テスト	授業態度 授業プリント 振返りシート
2学期	2学期中間	<ul style="list-style-type: none"> 国際秩序の変化や大衆化と私たち 大衆運動 第一次世界大戦 ロシア革命とその影響 社会運動の広がり アジアの民族運動 	<p>a: 第一次世界大戦や、ロシア革命とその影響についての知識を理解し、活用することができる。</p> <p>b: 歴史を学んだ上で自分の意見を持ち、かつ諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめて表現することができる。</p> <p>c: 歴史的な観点から現代の諸課題に目を向け、主体的に解決しようとしている。</p>	定期テスト	定期テスト ワークシート 課題 小テスト	授業態度 授業プリント 振返りシート

※令和4年度以降入学生用

2学期期末		<ul style="list-style-type: none"> ・世界恐慌 ・独裁勢力の台頭 ・日本のアジア進出 ・第二次世界大戦 ・戦後国際秩序 ・冷戦の始まり 	<p>a: 第二次世界大戦の経過やその後の国際秩序について理解し、活用することができる。</p> <p>b: 歴史を学んだ上で自分の意見を持ち、かつ諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめて表現することができる。</p> <p>c: 歴史的な観点から現代の諸課題に目を向け、主体的に解決しようとしている。</p>	定期テスト	定期テスト ワークシート 課題 小テスト	授業態度 授業プリント 振返りシート
3学期学年末	グローバル化と私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法 ・日本の独立 ・第三世界の登場 ・冷戦の展開 ・高度経済成長 ・ベトナム戦争 ・日本の経済大国化 ・日本の諸課題 	<p>a: 日本国憲法の成立や、日本の経済大国への歩みなどの知識を理解し、活用することができる。</p> <p>b: 歴史を学んだ上で自分の意見を持ち、かつ諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめて表現することができる。</p> <p>c: 歴史的な観点から現代の諸課題に目を向け、主体的に解決しようとしている。</p>	定期テスト	定期テスト ワークシート 課題 小テスト	授業態度 授業プリント 振返りシート

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

令和7年度 公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	公共（実教出版）						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

私たちが生きている「社会」には、さまざまな「解決しなければならない問題（＝課題）」があります。『公共』の授業は社会の課題について、みなさんが社会の一員として自分で考えていくことができるようになるための、基本的な力を身につけることを目指します。学習している内容と実際に私たちが直面している「社会」とのつながりを常に意識しながら、学習を進めていきましょう。

2 学習の到達目標

- ・選択・判断の手がかりとなる概念や理論、及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について、理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。
- ・現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。
- ・国家及び社会の形成者として、よりより社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	公共の授業内容について理解し、その知識を身に付けるとともに、様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめている。	公共の授業内容について、その特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会にみられる課題の解決に向けて構想したりして、社会の変化と関連付けて説明できる。	公共の授業内容が、自己の将来において役立つ場面を具体的に想定し、国家及び社会の形成者として、主体的に行動することができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和4年度以降入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期中間	公共の扉	社会を作る 私たち 人間として よく生きる	a: 公共の概念について理解していると同時に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 b: 公共の概念について事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。 c: よりより社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期テスト ワークシート	定期テスト ワークシート	定期テスト ワークシート
1学期期末	公共の扉	他者とともに生きる 民主社会の倫理 民主国家における基本原理	a: 民主社会の倫理について理解していると同時に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 b: 民主社会の倫理について事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。 c: よりより社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期テスト ワークシート	定期テスト ワークシート	定期テスト ワークシート

※令和4年度以降入学生用

2学期中間	よりよい社会の形成に参加する私たち	日本国憲法の基本的性格 日本の政治機構と政治参加	a: 日本国憲法の基本的性格について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 b: 日本国憲法の基本的性格について事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。 c: よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期テスト ワークシート	定期テスト ワークシート	定期テスト ワークシート
2学期期末	よりよい社会の形成に参加する私たち	現代の経済社会 日本の経済の特質と国民生活	a: 現代の経済社会について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 b: 現代の経済社会について事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。 c: よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期テスト ワークシート	定期テスト ワークシート	定期テスト ワークシート
3学期学年末	よりよい社会の形成に参加する私たち 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	国際政治の動向と課題 国際経済の動向と課題 持続可能な社会をめざして	a: 国際関係について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 b: 国際関係について事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。 c: よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期テスト ワークシート	定期テスト ワークシート	定期テスト ワークシート

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

学校番号	2002
------	------

令和7年度 公民科

教科	公民	科目	政治経済	単位数	2単位	学年	3年次
使用教科書	最新 政治・経済（実教出版）						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

政治・経済分野に関して、現在の諸事象を取り上げて考察していく。基礎・基本的な知識から、それらの繋がりを感じて、自ら興味関心を高め、それぞれの意見を持ち、伝えられる力を身に付けられるようにする。責任ある大人への第一歩として、自らと社会がどのように繋がっているのか、どのような責任・義務を果たしていくべきか、この授業を通じて理解を深めていく。

2 学習の到達目標

1年次に学習した公共の内容を基礎に、政治・経済のしくみや問題点をテーマごとに取り上げて理解を深めるとともに、社会人・主権者としての自覚と自分で考え行動できる能力の育成をめざす

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	政治・経済の授業内容について理解し、その知識を身に付けるとともに、様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめている。	政治・経済の授業内容について、その特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会にみられる課題の解決に向けて構想したりして、社会の変化と関連付けて説明できる。	政治・経済の授業内容が、自己の将来において役立つ場面を具体的に想定し、国家及び社会の形成者として、主体的に行動することができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和4年度以降入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期中間	現代国家と民主政治 日本国憲法と基本的人権	民主政治と法 民主政治の基本原理 議会制民主主義 日本国憲法の成立 自由に生きる権利 平等に生きる権利 社会権と参政権	a:現代国家と民主政治、日本国憲法と基本的人権について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 b:現代国家と民主政治、日本国憲法と基本的人権について事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。 c: よりより社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期テスト ワークシート	定期テスト ワークシート	ワークシート
1学期期末	日本の政治制度と政治参加 現代日本の経済社会	国会 内閣と行政機能の拡大 裁判所 地方自治 政党政治と選挙 世論と民主政治 資本主義経済の成立と発展 現代の資本主義経済 社会主義経済の形成と変容 市場のはたらき 現代の企業 経済成長と景気変動 金融の役割 財政の役割と租税	a:統治機構と現代経済について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 b: 統治機構と現代経済について事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。 c: よりより社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期テスト ワークシート	定期テスト ワークシート	ワークシート

※令和4年度以降入学生用

2学期中間	現代の日本における諸課題の探究 現代の日本経済と福祉の向上	日本経済の成長と課題 日本の公害問題 労働関係の改善 社会保障の役割 日本経済のあゆみとこれから	a: 現代日本経済と福祉について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 b: 現代日本経済と福祉について事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。 c: よりより社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期テスト ワークシート	定期テスト ワークシート	ワークシート
2学期期末	国際政治の動向と課題 国際経済理論 国際経済の動向と課題	国際社会と国際法 国際連合と国際協力 二次世界大戦後の国際政治 冷戦終結後の国際政治 国際経済のしくみ 国際経済の動向 発展途上国の諸問題 世界経済の中の日本	a: 国際政治と国際経済について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 b: 国際政治と国際経済について事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。 c: よりより社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期テスト ワークシート	定期テスト ワークシート	ワークシート

※令和4年度以降入学生用

3学期学年末	国際社会における諸課題の探究	SDGsの実現に向けて	<p>a: SDGs、難民問題について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。</p> <p>b: SDGs、難民問題について事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。</p> <p>c: よりより社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	定期テスト ワークシート	定期テスト ワークシート	ワークシート
--------	----------------	-------------	--	---------------------	---------------------	--------

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度